

令和 6 年度第 3 回八千代市健康まちづくりプラン推進・評価委員会会議録

【日時】 令和 7 年 3 月 13 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

【場所】 保健センター 第 1 会議室

【議題】 （1）第 3 次健康まちづくりプラン改定版について

- ・パブリックコメント結果について
- ・改定版の最終案について
- ・概要版について

（2）令和 6 年度の取組について

- ・生活習慣部会
- ・疾病対策部会
- ・健康づくりを支える環境整備

【出席者】

推進・評価委員（計 15 名） 福田会長，寺島委員，河野委員，小川委員，
椎名委員，白坂委員，会田委員，新井委員，粟
根委員，柏木委員，佐藤委員，和崎委員，東委
員，河添委員，服部委員

事務局（計 12 名）健康づくり課 石川課長，中村主幹，横田副主幹，大澤
主査，我孫子主査，小澤保健師
母子保健課 立石課長，新井主幹，湯浅副主幹，春山
主査，西川主任栄養士，小野歯科衛生士

【公開・非公開の別】 公開

【傍聴人】 0 名

【会議内容】

（福田会長）

委員の皆様におかれましては，御多忙のところ御参集いただきまして，誠に
ありがとうございます。

それでは，ただ今より令和 6 年度第 3 回八千代市健康まちづくりプラン推
進・評価委員会を開会いたします。

始めに、議題（1）八千代市第 3 次健康まちづくりプラン（改定版）のパブリックコメントの結果について、事務局よりお願いします。

（事務局・春山主査）

八千代市第 3 次健康まちづくりプラン（改定版）（素案）に寄せられた御意見と市の考え方について、御説明いたします。

資料 1 を御用意ください。令和 6 年 12 月 23 日から令和 7 年 1 月 22 日まで、この改定に関するパブリックコメントを実施しました。意見を下さった方は 2 名、件数は 6 件となっております。頂いた意見は趣旨を損なわない程度に要約し、整理しました。

始めに、母子保健課の担当部分である、三つ目の「乳児健診の時期」四つ目の「赤ちゃん広場の内容の充実」の御意見について御説明いたします。

これらにつきましては、課題として母子保健課で受け止めており、まず乳児期の支援としては、3 か月から 9 か月まで間が空くことについて、4 か月までは「乳児家庭全戸訪問事業」として必ず赤ちゃんのいる御家庭に訪問しております。

その後、支援の機会として 4 か月児赤ちゃん広場という相談事業を年間 100 回以上、緑が丘公民館や八千代台東南公共センター、保健センターで実施しており、子育てに関する情報提供や交流を促すなどの支援をしています。これらの既存の取組の中で引き続き、安心して子育てを楽しめるよう支援してまいります。

次に、一つ目の子ども医療費を無料に、二つ目の東京女子医科大学八千代医療センターの体制、五つ目の緑が丘エリアに遊び場の御意見につきましては、課題として各担当課と共有しております。

最後に、六つ目のコラムに二次元コードを掲載してとの御意見につきましては、二次元コードは将来的にリンク切れの可能性があることから、長期的な利便性を確保するという観点から二次元コードの掲載は予定しておりませんが、市の公式サイトで分かりやすく情報を提供してまいります。

今回のパブリックコメントを受けての素案の修正はありません。

（福田会長）

ただ今の説明について、御質問等はございますか。

—無し—

では、次に議題 2 の「八千代市第 3 次健康まちづくりプラン改定版の最終案」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局・湯浅副主幹)

計画書の最終案について御説明いたします。最終案は事前送付資料 1 になります。

「成育医療等に関する取り組み」を追記するに当たっては、第 3 次プランの構成を大きく変えることなく、成育医療等に関する部分以外への影響を最小限に改定作業を進めてまいりました。

ここに至るまでに、7月の第 1 回会議で骨子案を、12月2日の第 2 回会議で素案をお示しし、「妊娠期の取り組みが生涯の健康づくりのきっかけとなるように」との御意見を受けてコラムを追加したり、「子どもの生活習慣の改善は、地域全体で支えることが大切」「世代を超えた豊かな人間関係の構築が大切」といった御意見を受けて加筆修正をしました。

パブリックコメントで示した計画書素案から、パブリックコメントで頂いた御意見を受けての変更はありませんが、事務局で誤字脱字も含めて修正をした箇所を御報告いたします。

本日配布した資料 2「計画書変更点」を併せて御覧ください。

1 番目、表紙の右上の計画期間の表記について、パブリックコメントでは令和 7 年度からとしていたところを、令和 5 年度からとしました。計画書案の 4 ページ目を併せて御覧ください。中段の健康まちづくりプランの期間について、令和 5 年度から 10 年度までとしており、令和 7 年 3 月に改定したことを追記しています。また表紙に戻っていただき、右上で元々の計画期間を示した上で、下の方で改定時期を示すことで、4 ページ目と一致させました。

2 番目の修正は、改定版の表記の仕方を市のほかの計画に合わせたものです。改定版は括弧書きで表記しました。修正箇所のページ数は資料を御参照ください。

3 番目は、12 ページの転入者・転出者の人数の説明です。パブリックコメントで「ほぼ」と記載しておりましたが、本日お手元にある最終案では削除しております。男女同数の年代があるため「ほぼ」が正しいことから、「ほぼ」という表記を戻します。申し訳ありません。

4 番目は、27 ページと 30 ページの「取り組みの表記」について、3 次プランに合わせて送り仮名ありの表記に変更しました。

5 番目は、88 ページの表の下、数値目標の出典です。パブリックコメントでは市の事業において取得したデータより「以下（事業統計）」としていましたが、これより前に事業統計という表記にしていたので合わせました。

6 番目は、同じ 88 ページの「市民の取り組み」の五つ目、表現を喫煙の分野の書き方と合わせました。

7 番目は、89 ページの「市の取り組み」の一つ目、妊娠届・母子健康手帳交

付の部分で、子どもの「こ」の字を漢字にしました。これは、第3次プランと表記を一致させています。

8番目は、91ページの流産や死産を経験した人への支援について、産後ケア事業制度の条件が拡大し、流産や死産をした方も対象となったことから、事業内容に「産後ケア事業」を追記しております。

9～11番目の、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、健診の表記は、表現にばらつきがあったため、第3次プランの表記と統一しました。

12番目の目標値、出典の表について、一つ一つに「減少」と、枠を分けていましたが、同じ内容の部分を一つのセルに結合しています。

13番目と14番目は、配置「率」や「割合」を正式な表記に訂正しました。

また、資料1の後ろの部分は、資料編として、107ページ以降に、関連法規や設置要領などを追加しております。

パブリックコメント以降の変更点は以上となります。

また、今回の改定には間に合わなかったのですが、思春期保健ネットワーク会議の取扱いについて御報告いたします。

計画の最終案の27ページの推進体制にもある思春期保健ネットワーク会議は、性教育を単なる「性知識の伝達」だけに終わらせることなく、広く「人間教育」として捉え、思春期の性に関してニュースレターや中学生向けリーフレット、シンポジウム等による情報提供を行ってまいりました。

発足から18年が経過し、「生と性の教育・いのちの教育の推進」に係る外部講師謝金が令和6年度から創設されるなど、発足当初の目的は一定の成果が得られたため、令和7年3月をもって本会議は終了することといたしました。

学校に関連する取組は、保健体育課が新たに会議体を発足して推進するほか、リーフレットの作成等、情報提供の取組は母子保健課で引き続き担当し、休養・こころの健康の分野の事業名「生と性に関する知識の普及啓発や相談機関等の情報提供」について推進してまいります。

ここで、新たに掲げた取組、プレコンセプションケアの推進について御説明いたします。

市ホームページで「プレコンセプションケア」の周知を始め、昨年12月からは、プレコンノートを戸籍住民課に婚姻届を提出された方に配布しています。来年度も継続し、令和7年6月1日号の広報やちよでも特集を予定しており、多くの方にプレコンセプションケアの考えを伝えていきたいと考えています。健康まちづくりプランの上位計画である地域福祉計画も今年度2期計画を策定していますが、コラムとしてプレコンセプションケアの考えを掲載していただく予定になっています。

あわせて、葉酸摂取の啓発の取組として、一つ目は、大塚製薬と本市の包括

連携協定の取組として「妊娠前から葉酸を摂りましょう」の啓発チラシをプレコンノートに挟んで配布するほか、子宮頸がん予防ワクチン接種の市内委託医療機関に、チラシ配布のお願いをしたいと考えています。

二つ目は、千葉県立保健医療大学との取組です。看護学科の学生実習を受け入れていること、栄養士が学生への講義を行っている関係があり、葉酸摂取の取組への協力をお願いしたいと、葉酸が専門分野である栄養学科の学科長さんに提案したところ、来年度、具体的な動きを進める運びとなっています。

三つ目は、子宮頸がん予防ワクチンの対象者向けの個別通知に「理想的な朝食のススメ」を同封しています。

葉酸は、妊婦さんだけではなく、全ての世代に必要な栄養素です。認知症予防の効果もあることから、妊娠前の女性に限らず適切に摂取することが大切です。これからも周知啓発に努めてまいります。

思春期の取組の一つである、中学1年生とその保護者向けのリーフレットの作成、配布は引き続き母子保健課が担当させていただきます。

また、訂正の追加が有ります。88 ページ妊婦の喫煙率の前に「@」が入っているため、削除します。大変失礼いたしました。

このように、妊娠・出産・周産期から子育て期にわたる切れ目のない支援や、学童期・思春期、生涯全体の健康づくりを見据えて、改定版を策定したいと考えております。

(福田会長)

ただ今の説明について、御質問等がございますか。

後半でプレコンと葉酸という言葉がでてきましたが、プレコンノートとはどういったものになりますか。

ープレコンノートを配布ー

他に御質問等がございますか。

(和崎委員)

保健体育課の和崎と申します。

プレコンノートのことですが、配布対象が婚姻届を出された方とのことで、事前資料の概要版をみると、将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うためとのことだったので、結婚しない方が多くなっている今、ライフプランを考えてもらうために、成人式等の若い世代に幅広く配布してもいいのかなと思いました。

(事務局・湯浅副主幹)

御意見ありがとうございます。

プレコンノートは成人式では配布できませんでしたが，市で「プレコンセプションケア」についてホームページを作り，そのホームページにすぐ飛べるように二次元コードを成人式の日データとして，市民の皆様には御案内させていただいています。そこで興味を持っていただいた方は，二次元コードから開いて見ることができます。今は市役所で婚姻届を出された方のみ，プレコンノートをお渡ししているのと，ホームページを御覧いただいた方で，プレコンノートを欲しいという方は御連絡くださいとしているので，すぐ御案内できる状況にはなっております。

また，多くの方に周知させていただくためには，どのような場所で，どのような手段で周知できるとよいのかについては，委員の皆様から御意見を頂きながら，多くの方にこの考え方を知っていただけるように取り組んでいきたいと思っております。

（事務局・立石課長）

追加で説明させていただきます。

成人式のことですが，前はいろいろな案内を文書で配布していたのですが，持ち帰りをあまりしていただけないということで，そういったことが中止になりまして，二次元コードを配布という形になっています。

あと，今回御参加いただいている，委員の東先生の大学の文化祭に参加させていただいたときに，保健室に何部か配布をさせていただきました。皆様の中で配布できるところがありましたら，御協力のほどお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

（和崎委員）

中学３年生くらいのお子さんでも読める内容かなと思いました。中学３年生のお子さんには，教育委員会を通して全員にお配りできるのではないかなと思いますので，是非御検討いただけたらと思います。

（福田会長）

他に御質問，御意見等はございますか。

—無し—

それでは，八千代市第３次健康まちづくりプラン（改定版）の議決に移ります。

八千代市第３次健康まちづくりプラン（改定版）の最終案につきまして，御承認いただける方は拍手をお願いします。

ありがとうございます。

拍手多数により、八千代市第3次健康まちづくりプラン（改定版）の最終案につきましては、八千代市健康まちづくりプラン推進・評価委員会設置要領第6条2項の規定に基づき、出席した委員の過半数が承認の意向であることから可決されました。

では、次に議題3の八千代市第3次健康まちづくりプラン（改定版）の概要版について、事務局より説明をお願いします。

（事務局・春山主査）

概要版（案）について御説明いたします。

事前に送付しましたカラーの概要版、A4サイズの両面の追加資料を御覧ください。

市民や連携する機関等に対し、計画の目指すところや内容を分かりやすく伝えることを目的として、第3次健康まちづくりプランでは概要版を作成しております。市のホームページ等で公表しているほか、策定時に関係団体にも配布いたしました。今回の改定に当たっては、訂正シールを貼って、改定版の概要として活用する予定です。

2～5 ページは、健康まちづくりプランの内容となっており、各分野の「めざす姿」や「個人・地域の皆様への提案」、「市の取り組み」を計画書から抜粋して掲載しています。文言を多少変更したり、計画の内容に合わせて健康に関するポイント等を盛り込み、周知にも活用できるように考えております。

6, 7 ページは、自殺対策計画である「いのち支えるまちづくりプラン」の内容となります。計画の目指す基本理念や数値目標、主な取組等について記載をしております。

最終ページには、両計画における「取り組み紹介」を掲載しています。

この度の改定部分については、A4 両面で挟み込む形で検討をしております。ページの振り方としましては、5-1, 5-2 として、5 ページに続くものという扱いにしていきます。

内容につきましては、基本施策 4「成育医療等に関する取り組みの推進」として、①周産期から④全成育期まで、主な内容をピックアップして御紹介しています。

「めざす姿」は計画からそのまま引用しており、指標は代表的なものを一つか二つ載せています。

①周産期は産後ケアの利用率とし、個人や地域の皆様への提案では、情報を得ることや健康に関心を向けていただくことなどを挙げました。「市の取り組み」は指標と合わせた内容をピックアップしております。

②乳幼児期は、健康面の取組がほとんどですので、かかりつけ医とかかりつけ歯科医をもつ割合を指標として「個人・地域の皆様への提案」「市の取り組み」を併せて記載しています。

③学童期・思春期は、指標は朝食の欠食率を選択し、健康面のみならずプレコンセプションケアの部分を盛り込むため、是非見ていただきたいこども家庭庁のサイトを掲載しました。

④全成育期では、子育てしやすいまちをイメージできる指標を掲載しております。

また、その下の「取り組み紹介」では、プレコンセプションケアを理解していただくための説明や、市で実施しているプレコンノートの配布について御紹介しています。また、母子保健課ではメインとなる相談支援について改めて御紹介しております。

概要版の内容やレイアウト、またこの活用方法につきましても、御意見を頂戴できれば幸いです。

(福田会長)

ただ今の説明について、御質問等はありませんか。

概要版の活用方法についてはいかがでしょうか。

枚数に限りはありますが、こんな場面で配布できるなどの御意見がありましたらお願いします。

(河添委員)

助産師会の河添と申します。

全成育期の「市の取り組み」のところで、子育て講座の実施とは赤ちゃん広場のことですか。

(事務局・春山主査)

子育て講座は、以前はパパとママの子育て教室やマタニティ講座と言われていましたが、今は、ハローベビー教室に妊娠編と子育て編というものがあります。もう少し具体的に記載した方がよいでしょうか。

(河添委員)

子育て講座と書かれていると、出産後の講座のイメージがありますので、こちらだと何の事業をしているのかなと思いました。

(事務局・春山主査)

母子保健課だけではなく、社会教育の公民館等でも子育てに関する講座を行っていますので、そういったものを総称して書いております。

(河野委員)

冊子をめくっていくと、こちらは基本施策4とのことですが、基本施策3に続くということが分かりにくいいため、分かりやすく継続性があるようにしたらいいと思います。

(事務局・春山主査)

ありがとうございます。

めくっていくと5ページの次が6ページで、いのち支えるまちづくりプランの方に含まれるように見えて分かりにくいですね。

今回追加する部分は、5ページの続きにはなるため、ページ数を付け、説明をしてお渡しする運用でカバーしていきたいと思います。何かいいアイデアがあれば教えていただけたらと思います。

(河野委員)

5ページ目に貼り付けるのはどうですか。今あるものを無駄にしないのはいいと思います。

(寺島委員)

検索に関する部分は背景がオレンジベースになっていると思いますが、ここは青ベースになっています。統一を図るとよいと思います。

(事務局・春山主査)

今、御指摘のあった場所は、③学童・思春期にスマート保健室で検索と書いてある場所が、背景を青ベースで作成しております。当初は健康面に関するポイントとして、他の部分を見ていくと、歯磨き剤を使おうや、飲酒をするときは気を付けようのように青いところのつもりで作成していましたが、その後に検索ボタンを追加したため、統一感がなくなっておりました。こちらは検索ということで、オレンジベースにした方が統一感が出ると思いますので、修正したいと思います。ありがとうございます。

(服部委員)

PTA 連絡協議会の服部と申します。

今回、改定版というシールを貼るとのことですが、今私が持っているものは、

改定版の括弧が手書きで書いてありますが、こちらは括弧も印刷されますか。

(事務局・春山主査)

括弧も印刷します。

(小川委員)

今、薬局もかかりつけ医，かかりつけ歯科医のように，かかりつけ薬局，かかりつけ薬剤師というのが少しずつできています。薬局では健康セミナーというものを始めています。全部ではなく一部の薬局での取組で，少人数のセミナーですが，頂けるのであれば頂きたいです。

先ほどの追加の部分ですが，ここに貼って折り込んだら，続くように見えるのではないかと思います。

(事務局・春山主査)

5 ページ目に貼り付けるような形につきましては，こちらの作業等も含め，検討させていただけたらと思います。ありがとうございます。

(福田会長)

現状はどういったところで，お渡ししていますか。

(事務局・春山主査)

民生委員さん，児童委員さんの集まりで御説明しつつお渡ししたり，養成講座等でもお渡しをしています。

(福田会長)

現時点で，何部くらい配布していますか。

(事務局・春山主査)

400 部配布し，残りは 1,600 部あります。

(服部委員)

私は大和田西小学校の PTA 会長をしまして，ここへは PTA の連絡協議会から代表してきているんですけど，PTA 連絡協議会というのが，市内の小中の PTA 会長が集まります。その場で配布できたらいいなと思っておりますが，だいたい 30～40 名ほどいます。

(寺島委員)

こちらを見ていると、目指すところで誰に配布したいのかを考えると、食生活は誰でもいいのかと思います。生活習慣病は中高年の方、自殺予防は青少年です。新しく入る成育医療ではお子さんを持つ御家庭と、全世代に配布する機会を考えると、どーんと祭等があるのかなと思います。

(会田委員)

まちづくりプランを作った段階では、どういうところで配布するという予定で1,600という数が出されたのかなと思いました。例えば、全世帯配布というような意図があればもっと冊数が増えるでしょうし、指導する立場の方々が、こういうことを八千代で今やっていますという、指導書的な役割で配布されたのかというのがちょっと分かりませんでした。

全世帯に向けて、市民の皆さんに共通理解してもらいたいということであれば、市役所や支所、あるいは転入してきた方には全員配る等、本当に行き渡るような方法が必要だと思いますし、でもそうすると、1,600という冊数では想定されないの、たくさんの人に見てもらいたいというのにはあまりにも漠然としていて、どの程度を想定していらっしゃるのかなというのにはちょっと疑問に感じました。

冊数を今後増やして、今あるものはシールを貼って補って、また新しいものを増刷する予定があるのであれば、市役所や支所、市の機関や何かイベントがあるときには配っていくなど、なるべく、市民の皆さん一人一人が手に取って見る機会を増やすという方向では冊数は足りないのかなと。

無理やり渡してしまうと、こういう紙のものはごみにされてしまったり、帰りまで持ってしてもらえないのかという不安が若干あるのかなあと思うんですね。やっぱり求める方が手に取る、若しくはそれを、保存版だと思って、持ち帰って、お家で保管していただけるような状況の中で配るのがいいのではないかなと思いました。何となくチラシのように配るのではなく、それに対して、予算も掛かって印刷をしているので、大切に皆さんに行き届くようなものにしたらいなと思います。

(事務局・春山主査)

しっかり読みこんでいただくような内容にはなっていますので、関係団体への配布などを想定しています。また、この6年間の計画期間の間、委員さんも変わっていくので、そういった配布の仕方を当初は想定していました。全員にということころは、6月に広報で特集を予定しておりますので、ここでプレコンセプションケアとはということをお知らせしつつ、プランを改定しましたと

いうことをお知らせする予定であります。

(河添委員)

千葉県助産師会の河添と申します。
公民館の方には配っていますか。

(事務局・春山主査)

こういったものを載せることについては、関係機関と調整した上で載せています。あとは、庁内の掲示板やホームページ等で情報共有はしておりますので、配布しておりません。

(河添委員)

公民館等で高齢者向けの講座や小学生向けの講座等、いろんな講座を実施しているのです、これを公民館の講座を企画する方が、このプランを理解していると、それに沿った内容の講座等を企画しやすいのかなと思いました。

(福田会長)

ありがとうございます。他に御意見等はございませんか。
事務局においては、本日の御意見を参考に概要版の活用を図ってください。
次に、令和6年度の取組について事務局より説明をお願いします。

(事務局・小澤保健師)

それでは事務局より令和6年度の取組報告をさせていただきます。資料3-①とスライドを併せて御覧ください。

始めに、健康まちづくりプラン全体の取組報告をさせていただきます。健康まちづくりプラン推進・評価委員会及び部会の開催につきましては、1回目の委員会を7月26日に、令和5年度の実績を示した進捗状況調査、令和6年度の取組予定、成育基本計画の策定を議題として開催いたしました。

また、同日に第1回の部会を開催し「若い世代の食習慣の現状について」をテーマとし、委員の皆様から多くの御意見を頂くことができました。

2回目の委員会は12月2日に行い、「八千代市第3次健康まちづくりプラン(改訂版)の素案について」を議題として開催しました。そして、本日3月13日が3回目の委員会となります。

推進・評価の体制としまして、八千代市第3次健康まちづくりプランに基づく事業の進捗状況調査を、庁内15部署を対象に5月24日から6月7日までの間で実施しました。

次に、本プランと連動している会議体の開催状況ですが、まず昨年度から協議会を立ち上げました「自殺対策連絡協議会」は、7月と1月に令和6年度の「第2次いのちを支えるまちづくりプラン」の取組についてや令和5年度の進捗状況調査結果、事務局主催事業の報告、事例紹介などを行いました。

歯と口腔の健康づくり推進会議につきましては、10月に会議を開催し、マウスガードや災害時の口腔ケアに関する周知などをしております。

思春期保健ネットワーク会議は9月と2月に会議を開催し、今年度の活動と今後の会議についてを共有しております。

食育担当者会議につきましては、7月に開催し、令和6年度の取組予定と食品ロスや防災食に関して、グループ協議を行いました。

全体的な取組についての報告は以上です。

(事務局・西川主任栄養士)

続きまして、生活習慣部会の取組について御報告させていただきます。資料は3-②、改定版の計画書は32ページからです。

生活習慣部会では健康的な生活習慣の取組支援を6つの分野ごとに進めてまいりました。この6つの分野、食生活、身体活動・運動、歯と口腔の健康、休養・こころの健康、飲酒、喫煙は、充実した毎日を送るための丈夫な体づくりや豊かな心の育みを推進しています。広報やちよ9月1日号にて、食事や運動などの日々の生活習慣を見直し、実行できるポイントについて紹介させていただきました。市ホームページからバックナンバーが閲覧できますので、是非御覧ください。

それでは、食生活分野から御報告させていただきます。健康に配慮した食事について普及啓発を行うとともに、一緒に作り一緒に食べる等の食の知識や感謝の心を深めるきっかけとなる取組を推進してきました。「めぎす姿」は二つ、「おいしく楽しくバランスよく食べて健康につながる食生活を送る」「食に関するさまざまな経験を通して、心豊かに生活するための食の知識や感謝の心を持つ」です。健康に配慮した食事に関する情報提供について朝食の大切さのポスター掲示や旬の野菜レシピと健康情報の紹介をリーフレットで配布しました。旬の野菜レシピについては季節の発行ごとにホームページも更新しています。是非御覧ください。

次に、若年女性や高齢者の栄養問題に関する普及啓発です。健康づくり課が実施する講座で、高齢者の低栄養予防について千葉県歯科医師会が提唱する「80歳になっても肉を始めとした良質なたんぱく質を食べることで介護を必要としない高齢者を増やしていこう」という8029運動を周知しました。若年女性の栄養問題については、今年度の第1回推進・評価委員会及び部会におい

て「若い世代の食生活の現状や理想などで感じること」や「社会全体でこの問題を解決するためにどのようなことが必要か」のグループワークを行いました。やせ願望だけでなく、美しくありたい願望が男女問わず見られることや、子どもたちを取り巻く環境の影響、友人からの評価を気にする子どもたちの心理面などの現状が共有され、正しい情報を伝える、やせていることが美德ではない健康的な体型がよいという認識の広まりなど社会全体で解決するためのアイデアが出されました。令和7年度も成育医療等に関する取組の推進と併せて、若年女性のやせ予防に取り組んでまいります。

次に、食生活相談については、赤ちゃんから高齢者まで離乳食や糖尿病についてなど相談内容が多岐にわたり、電話や面接等個別で対応しています。

健康に配慮した食事に関する講座は、昨年度から継続して試食を取り入れている離乳食教室や、糖尿病や高血圧などの生活習慣病予防講座については調理実習を行い、「お腹のお肉撃退！」というテーマで、65歳未満限定のメタボ予防講座も実施しました。

食を通じた市民活動グループの発足及び自主活動支援について御報告します。計画書は39ページのコラムを御参照ください。料理初心者の方を対象に5年ぶりに「男の料理塾」を開催しました。包丁を持ったことがない人も講座が終わる頃には「簡単料理ができる男性に！」を合言葉にみんなで作る楽しさと食べる楽しさの体験、男の料理塾終了後もサークル活動として料理を続けることを目的とし、令和7年1月から3月までの3か月間、全6回1コースで開催しました。

まずは米とぎから始まり、最終回では火加減が難しいホイコーローを作るまで上達しました。作った料理は皆で会食し交流も深まりました。自主グループ活動は、令和5年3月現在で3グループが活動していましたが、コロナ禍を経てグループも高齢化し自主活動を退く方もいたことから、二つのグループが合併し現在は2グループが活動しています。会員同士で献立を相談し合い、役割分担をしながら調理をし、和やかに会食をしています。健康づくり課は手軽に作れる料理や食の知識を紹介するなど、今後も地域に根付いた活動が継続できるよう、活動支援を行ってまいります。

健康に配慮した食環境づくりの推進についてです。健康を意識したメニューを提供している飲食店を「やちよ元気UP応援店」として登録し、自然と健康になれる食環境づくりを推進しました。令和6年10月から12月まで実施し、市内飲食店15店舗19メニューの登録がありました。

児童への食に関する授業の実施では、小学校3年生を対象として、農業生産者による、にんじん、梨、酪農などをテーマにした食に関する授業を実施しました。

次に、身体活動運動について御報告いたします。計画書は 40 ページを御覧ください。

日常生活の中で体を動かす習慣を持つことや、身体状況に合わせて家族や仲間とともに楽しみながら社会参加を行うことで、身体活動量を増やす取組を行ってまいりました。「めざす姿」は、「運動・スポーツを習慣化する」「社会参加を通じて身体活動量を増やすように心がける」の二つです。

子どもの発達を促すことに関して、乳幼児期は特に発育発達が目覚ましいことから月齢に合わせて発達状況の情報発信を行いました。自然に触れ、外で体を動かしやすいよう、親子遊びを勧めるチラシや公園マップの配布を実施しました。

運動に関する講座の実施について、「お試し体操広場」では、皆さんも一度は聞いたことがある童謡などに体操を合わせた歌体操や、やちよ元気体操等を紹介し、身体を動かすきっかけづくりを行っています。生活の一部に運動習慣を取り入れやすいよう健康運動指導士による「ゆるトレ・ながらトレから始める！運動はじめて講座」を実施しました。

計画書の 43 ページを御覧ください。やちよ元気体操とは転倒予防を目的として、いつでもどこでも誰でも出来るように作成した市オリジナルの体操で、まちづくりふれあい講座やげんき広場で体操の普及啓発を実施しました。また、やちよ元気体操を広めるためにやちよ元気体操応援隊の養成講座を 2 回実施、養成講座を修了した自主活動グループを訪問し体操の困り事等に対応しました。

普段の生活の中で、意識的に体を動かす必要性や方法に関しポスター掲示等による普及啓発を実施しました。

市民の外出機会の促進を図るために、シティプロモーション課と連携し、祭りなどのイベントに合わせて、市内お出掛け情報の配信を実施しました。

次に、歯と口腔の健康について御報告いたします。計画書 46 ページを御覧ください。

市民の歯と口腔の健康づくりを推進することで健康寿命の延伸を図るため、むし歯や歯周疾患の予防に加え、オーラルフレイル対策を目的とした口腔体操の普及啓発等、口腔機能維持向上の取組を推進してまいりました。「めざす姿」は三つです。一つ目「歯を失う原因である歯や口腔の疾患予防、口腔機能の維持向上及び外傷防止に向けた取組を行う」、二つ目「かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることにより、歯と口腔の疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることによって口腔機能の維持向上を図る」、三つ目は「災害等によって口腔ケアが困難な状況においても、誤嚥性肺炎の発症等の二次的な健康状態の悪化を防ぎ、口腔機能の維持を図る」です。取組としましては、歯と口の健康週間などを活用しホームページ等でむし歯や歯周疾患等の予防につい

ての情報発信を行ったり、「災害時のお口のケア やちよハンドブック」リーフレットを作成し、総合防災訓練で配布しました。

次に休養・こころの健康について御報告いたします。計画書 53 ページを御覧ください。

睡眠やストレス対処法等のこころの健康を保つための支援を行うとともに、悩みを抱えた人が相談につながるような体制整備を推進し、また子ども時代から自分を大切にすることを育むための働き掛けを行っています。めざす姿は四つです。1「質のよい睡眠を心がける」、2「こころの不調に気づき、ストレスと上手に付き合う」、3「悩みを抱えた時やこころの不調を感じた時には、ひとりで抱え込まず相談する」、4「自分を大切にすることを子ども時代から育む」です。厚生労働省から、健康づくりのための睡眠ガイド 2023 が示され、質のよい睡眠を取るための一工夫について、広報やちよ 9 月 1 日号で情報発信しました。

また、健康な生活を送るためには、身体とこころの健康状態も重要なため、こころの健康に関する相談機関についてホームページや健康情報メール、関係機関へチラシを配布するなどの周知を行いました。

次に、飲酒について御報告させていただきます。計画書は 62 ページを御覧ください。

お酒との上手な付き合い方についての正しい知識を普及啓発するとともに、アルコールに関する健康問題について悩みを抱えた市民が必要な支援につながるよう、相談体制の整備に努めています。「めざす姿」は三つです。1「適正飲酒を心がける」、2「20 歳未満の人や妊娠中の人は飲酒しない」、3「アルコールによる健康問題に関する相談をし、必要な支援を受ける」です。適度な飲酒は心身のリラックスや良好なコミュニケーションを促進する場合もある一方、過度な飲酒は肝臓などの臓器障害やアルコール依存症などの健康問題を引き起こす可能性を高めるため、飲酒の頻度が増える年末にかけ、広報やちよ 12 月 1 日号にお酒との上手な付き合い方に関する情報発信を行いました。また、母子健康手帳交付時に妊娠中の人が飲酒するリスクについて、併せて周りの人がお酒を勧めないよう啓発しました。

最後に喫煙です。計画書 66 ページを御覧ください。

喫煙が健康に与える影響や禁煙を希望する人が禁煙の治療や支援が受けられるような情報発信を行うとともに、望まない受動喫煙をなくす取組を推進しております。「めざす」姿は二つです。1「自分や周りの人への健康に配慮して禁煙に努め 20 歳未満の人と妊娠中の人は喫煙しない」2「望まない受動喫煙を減らす」です。

計画書 68 ページのコラムを御覧ください。子どもの頃からたばこの健康へ

の影響について学べるよう、紙芝居の読み聞かせを幼稚園、保育園等と協力して行いました。また、千葉県受動喫煙防止キャンペーンにおいて、市内公共施設やイベント等でウェットティッシュ及びカイロの啓発物を配布し、受動喫煙の害について普及啓発を実施しました。

(事務局・我孫子主査)

続きまして、疾病対策部会の主な取組について御報告いたします。

資料 3-③を御覧ください。計画書の冊子は 66 ページからになります。生活習慣病予防・早期発見の分野につきまして、施策の方向性として、食生活や運動、睡眠などの健康づくりに関する情報を発信するとともに、市民が必要な検診・健診を受診し、更には生活習慣の見直しを行うことができるよう、医療機関を始めとする関係機関等と連携しながら取組を推進していきます。

「めざす姿」は、1「自身の健康状態や性別及び各ライフステージにより起こりうる健康問題に関心を向け、健康管理を行う」、2「年齢・性別に応じて検診・健診を受ける」、3「検診・健診をきっかけに生活習慣を見直す」の三つです。

取組の実績としまして幾つか抜粋して御紹介いたします。

まず、生活習慣病やがん等の疾病に対する正しい知識の普及啓発につきましては、生活習慣病予防講演会を 2 回開催いたしました。テーマは「骨粗しょう症」と「糖尿病」で、骨粗しょう症については、寺島委員を講師にお迎えしました。

次に、妊娠期から乳幼児期における健診の実施につきましては、母子保健法に基づき各種健康診査を実施しています。

今年度から、3 歳児健診における目の屈折検査を開始しました。視力の異常は、日常の生活では気付かれないことが多く、弱視の早期発見のため、目の屈折検査を行っております。

次に、がん検診や特定健診の実施につきましては、医師会や関係機関と連携し、年齢・性別に応じた検診を実施しております。今年度からは、コロナ禍で中止していたユアエルム八千代台店で特定健康診査の集団健診を再開しました。

特定保健指導の実施につきましては、対象者は 40 歳から 74 歳までの国民健康保険加入者及び生活保護受給者です。集団健診時に初回面接を実施したり、利用者の利便性の向上として、平日の夜間や土日の面接日を設定しています。

健診結果を基にした高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施につきましては、75 歳以上の方の生活習慣病予防及びフレイル予防を目的とした保健指導を行う事業であり、保健師等の専門職の家庭訪問による保健指導や、高齢者の通いの場でオーラルフレイル等の健康教育を実施しています。令和 6 年度から

は、医療・介護・健診を受けていない健康状態不明者への訪問を開始しました。

ここで一つ訂正がございます。資料 3-③，最後の行につきまして，開始した地区が「大和田・村上」となっておりますが，睦地区も実施しておりますので訂正いただければと思います。

次に感染症対策についてですが，計画書は 73 ページを御覧ください。施策の方向性は，市民が日頃より手洗い等の衛生習慣や健康的な生活習慣を身に付けることができるよう働き掛けを行うとともに，国・県の方針に基づき，感染症状況や健康情報の提供，相談体制整備や医療情報の提供，予防接種等の計画的な実施等により，市民・地域と行政が相互に協力し，感染対策を推進します。

「めざす姿」は，1「日頃から感染症予防の取り組みを心がけ，感染症への備えを行う」，2「感染症の流行期であっても QOL が保たれ，発症時も安心して療養できる」の二つです。

取組の主な実績とし，定期予防接種の実施につきましては，予防接種法に基づく各種予防接種を実施しています。

感染症に関する情報の発信につきましては，広報やちよやホームページ，やちよ情報メール等で情報提供を行いました。また，やちよ子育てナビという，市が提供する 16 か国語対応のモバイルサービスにおいても，流行感染症情報を提供しています。

疾病対策部会の取組は以上です。

（事務局・大澤主査）

続きまして，健康づくりを支える環境整備の取組について御報告いたします。資料 3-④，計画書冊子の 77 ページを御覧ください。

施策の方向性は，健康を支えるための環境づくりの一環として，地域のつながりの強化，及び地域の中で安心して子育てできるような体制整備を推進するとともに，健康づくりに関わる市民や団体が増えるよう努めます。

「めざす姿」は，1「市民同士の交流が多いまち」，2「子育てしやすいまち」，3「健康づくりに関わる人材や団体が多くいるまち」の三つです。

主な取組の実績としまして，子育てに関する各種相談窓口の周知について，子育て世代包括支援センター「やちっこ」において切れ目のないサポートが受けられることを周知しています。

また，妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ，様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談を充実し，経済的支援を一体として実施する事業として，出産・子育て応援給付金を実施しています。

やちよ元気体操応援隊の養成・自主活動支援につきましては，応援隊養成講座や研修会を開催しています。

地域団体への健康教育の実施につきましては、市役所職員の出前講座である「まちづくりふれあい講座」を実施しています。今年度は地域団体等から依頼を受け、子どものむし歯予防や朝食の大切さ、やちよ元気体操や脚力測定、睡眠等をテーマに実施しました。

最後に、健康づくりに関連する情報の発信につきましては、広報やちよやホームページ等で情報発信しています。

今年度は生活習慣部会でもお伝えしたとおり、9月1日号の広報やちよで健康増進普及月間の特集ページにおいて、運動、睡眠、食、口腔の情報提供や健診の受診勧奨を掲載しています。

ほかにも、旬の野菜レシピを、健康情報を併せて年4回作成し、農業交流センターや社会福祉協議会の支会等に配布しています。

令和6年度の取組の報告は以上です。

(福田会長)

ただ今の説明について、御質問等はありませんか。

(佐藤委員)

疾病対策部会の取組の(5)健診結果を基にした高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の中で、健康状態不明者の訪問を開始したとの報告がありましたが、実際行ってみて、この方たちはいわゆる元気老人だったのか、どんな状態だったのか、いろいろなところとつながりが持っている人なのかなどが分かれば教えてください。

(事務局・我孫子主査)

健康状態不明者につきましては、対象の方は令和6年3月31日時点で77、78、79歳の方で、令和4年、5年の2年間に健診、医療を受けておらず、介護認定がなく、相談履歴もない方に対し、健康づくり課の保健師がメインとなって訪問しました。

人数としては46名で、全く状況が確認できなかった方というのは2名です。その他は会えたり状況が分かったりという方たちでしたが、パターンとしてはばらばらで、お元気で社会といろいろなつながりがあって、本当に必要がなく何も受けていらっしやらない方だったり、家から出る機会がなく、どこともつながりがなかった方へは、地域包括センターと連携をして、社会資源につなげるような活動をさせていただきました。

(福田会長)

他に何か御意見・御質問等がございますか。

—無し—

最後に、事務局から事務連絡をお願いします。

(事務局・小野歯科衛生士)

本日御協議いただきました八千代市第3次健康まちづくりプラン（改定版）は、令和7年3月末の策定に向けて手続を進めてまいります。

計画書が完成いたしましたら、4月以降市ホームページのほか図書館等の公共施設においても閲覧可能となる予定です。ホームページで閲覧可能になり次第、委員の皆様にはメール又は文書でお知らせいたします。冊子としてお手元に必要な方はお申し出いただければと存じます。

また、本推進・評価委員会の委員の皆様は、令和7年6月14日までとなっており、本日の委員会が委嘱期間最後の委員会となります。本当にありがとうございました。

新たな任期となる令和7年6月15日より前に、改めて各団体へ御依頼のお声掛けをさせていただきますことを御了承ください。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、改定版策定に当たり多くの貴重な御意見を頂きましたことに改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(福田会長)

それでは、これをもちまして、令和6年度第3回八千代市健康まちづくりプラン推進・評価委員会を閉会いたします。

先ほど事務局からもありましたとおり、この委員で集まるのは今回の会議が最後となります。皆さん2年間にわたりお疲れ様でした。